

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

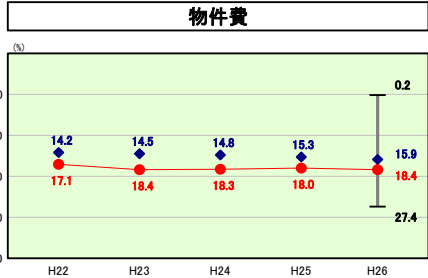
兵庫県猪名川町

経常収支比率の分析

人口	31,798人	(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	31,655人	(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	90.33km ²		実質公債費比率	1.7%
歳入総額	10,751,338千円		将来負担比率	-%
歳出総額	10,049,647千円		市町村類型	H22 V-2 H23 V-2 H24 V-2
実質収支	414,013千円		(年度毎)	H25 V-2 H26 V-2
標準財政規模	6,599,024千円			

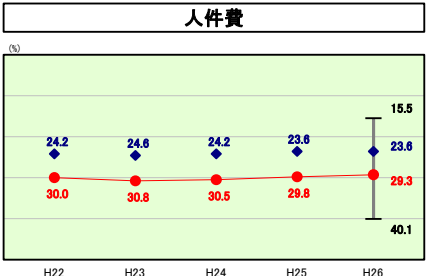


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



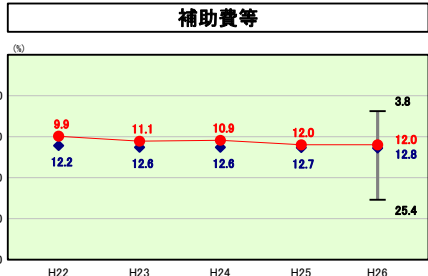
物件費の分析欄

物件費に対する経常収支比率は18.4%で、類似団体の15.9%と比較すると2.5ポイント高くなっており、前年度と比較すると0.4ポイント増加しています。引き続きコスト削減や事務の効率化を進め、健全な財政運営に努めます。



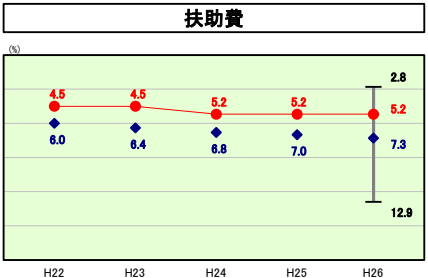
人件費の分析欄

人件費に対する経常収支比率は29.3%で、類似団体の23.6%より5.7ポイント高くなっています。これは、町単独消防本部の設置により職員数が類似団体平均と比較して多いことが主な要因であり、行政サービスの提供方法の差異によるものといえます。前年度と比較すると給与の減額措置などにより0.5ポイント改善しました。引き続き人件費を抑制し、経常収支比率改善に努めます。



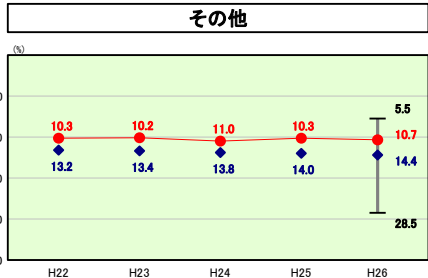
補助費等の分析欄

下水道事業会計補助金などの増加の影響から、補助費等に対する経常収支比率は12.0%と、前年度と同率となりました。また、類似団体平均の12.8%と比較して0.8ポイント低くなっています。今後も補助金の必要性や効果などの評価、検証を行いながら過度の支出とならないように努めます。



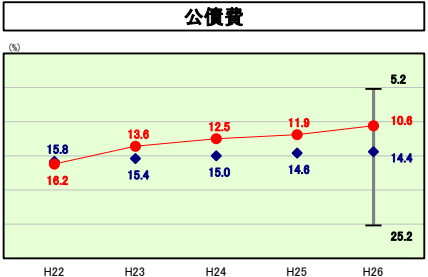
扶助費の分析欄

扶助費に対する経常収支比率は5.2%で、前年度と同率にとどまったことから、類似団体平均との差は0.2ポイント広がっています。類似団体平均と比較して良好であるといえますが、今後においても、これまで以上に社会保障関係経費の増加が予想されるため、財政を圧迫しないよう適正な事業実施に努めます。



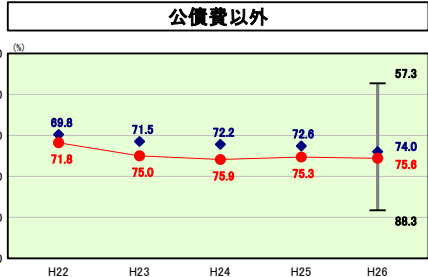
その他の分析欄

その他は維持補修費1.0%と特別会計などへの繰出金9.7%の合計です。維持補修費は公共施設の老朽化に伴い修繕が増加したため0.1ポイント増加、繰出金は後期高齢者医療保険の被保険者数増加に伴い給付費が増加している影響で0.3ポイントの増加となり、その他の経常収支比率は前年度と比較して0.4ポイント増加しました。



公債費の分析欄

公債費は10.6%となり、これまで実施してきた地方債発行抑制の効果により、前年度と比較して1.3ポイント減少、類似団体の14.4%と比較しても3.8ポイント低くなっています。過去の償還が終了したことで元利償還金は減少しましたが、臨時財政対策債の増加や国の経済対策による投資的事業の増加などにより地方債残高が増加傾向にあるため、将来世代に過度の負担を残さないよう注意を払い、財政の健全な運営に努めます。



公債費以外の分析欄

物件費や繰出金に対する経常収支比率が増加した影響により、経常収支比率86.2%から地方債返済に係る公債費10.6%を差し引いた公債費以外の経常収支比率については、75.6%と前年度から0.3ポイント悪化しました。類似団体平均の74.0%と比較すると1.6ポイント高くなっているため、今後も類似団体を上回っている人件費及び物件費について、引き続き歳出抑制に努める必要があります。